

平成 27 年度第 1 回古賀市補助金審査委員会 議事録（要点筆記）

【会議の名称】 第 1 回古賀市補助金審査委員会

【日時・場所】 平成 27 年 6 月 8 日(月) 9 時 00 分～12 時 30 分  
市役所第 1 庁舎第 3 委員会室

【主な議題】

1. 開会
2. 会議の公開について
3. 委員長あいさつ
4. 実績報告及び評価
  - (1) 実績報告及び評価
    - ① 古賀市における園芸福祉事業 古賀市緑のまちづくりの会
    - ② 定期演奏会 古賀市民オーケストラ
    - ③ 夏休みこども体験教室 特定非営利活動法人古賀市文化協会
    - ④ 古賀市第九演奏会 古賀市「第九」実行委員会
    - ⑤ 演劇ワークショップ「悠久の風」 古賀市市民劇団DAICOON
    - ⑥ 古賀市商工会クリスマス市民祭 古賀市商工会
    - ⑦ 古賀市商工会駅前商店街土曜夜市 古賀市商工会
    - ⑧ 古賀市PRワークショップ 特定非営利活動法人晴天人
  - (2) 評価結果取りまとめ、総括
5. その他
6. 閉会

【傍聴者数】 非公開

【出席委員等の氏名】

委員：宗像優委員長、三上伸充委員、山崎あづさ委員

事務局：総務部長 中野敏明（途中退席）

財政課長 星野孝一、財政課財政係長 割石直人、

財政係 田中智実、真崎剛二（途中退席）

【庶務担当部署名】 総務部 財政課 財政係

【委員に配布した資料の名称】

資料番号	名 称
1	実績報告書及び評価書
2	実績評価票
3	実績評価票の記入について
4	平成 27 年度スケジュール（予定）

## 【会議の内容】

### ○会議の公開について

(事務局) 合議制の審査となるので、古賀市情報公開条例第 7 条第 4 号の公にすることにより、率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあるものと判断しましたことにより、非公開。

### ○議事

本日は平成 26 年度採択の 15 事業のうち 8 事業の評価を行う。

#### ① 古賀市における園芸福祉事業 古賀市緑のまちづくりの会

補助内示額：198 千円 補助実績額：195 千円

(委員) 収支報告書に県や古賀市の補助金があげられているが、公募型補助金との関連はどうなっているのか。

(委員) 全体の活動報告が添付されているので、全体のイメージがつかみやすいものの、公募型補助金以外の補助金も受けていることもあり、当該補助金で出たお金が何にいくらぐらいかかったか、数も含めて詳細に報告をしていただきたい。

(委員) 収支報告書の経費科目の中で、「掃除用具、廃材修理」及び「水道・電気器具補修」という内容があげているが、どのような消耗品なのか。

(委員) 精力的な活動は評価できるが、将来的な自立に向けた取り組みの効果が見えなければ、今後の継続には疑問が残る。

#### ② 定期演奏会 古賀市民オーケストラ

補助内示額：473 千円 補助実績額：473 千円

(委員) 申請時に予定していた高齢者に対する呼びかけはされたのか。

(委員) 障害者の入場者数がゼロだったのは案内が遅かったのが主な理由となっているため、今後はしっかりと周知をしていただきたい。

(委員) 市民に低料金でオーケストラを提供するということだけを見ればすごくいいと思うが、オリジナルの団員が 14 名に対し、客演が 40 名にもなるのはいかがなものか。人＝金になっているのではないかという最初の審査のときの心配や危惧が改善されなかったところが団体側としてどう受けとめているか心配になった。向かっていく方向が定まっていない感じがする。

(委員) 客演がどの程度日ごろの活動に参加しているのかわからないが、付け焼刃的に人を集めた形になっていないか。今後の見通しなり、改善策なり、検討したほうがよい。今のスタイルのまま客演を中心にするなら、宣伝活動に力を入れることも必要ではないか。

(委員) 自立に向けた取り組みという点で、収入の広告代で 5000 円の広告が 6 枠しかなかったのは、市民に定着していると言われていた割にはすくないのではないか。自立に向け、

もう少し努力していただきたい。

(委員) 演奏のクオリティーが低いのであれば、文化度向上に効果があるとは言いがたい。熱意があるかもしれないが、演者自身の技量向上が主目的ではないので必要性に対して疑問を持たれても仕方ないのではないか。

③ 夏休みこども体験教室 特定非営利活動法人古賀市文化協会

補助内示額：212 千円 補助実績額：212 千円

(委員) 今は、参加費用は徴収していないということだが、材料費や保険料はどうしているのか。

(委員) 審査時にはなかった旅費が支出されているが、必要に応じてそうなったなら、やむを得ないが、外部からの旅費のいる講師は想定していなかったのか。

(委員) 今後継続していくためにも、対価収益を確保することまたそれに耐えうる内容と広報を行うこと、ターゲット層が関心を持つようなタイトルや日時設定など工夫をすること、関心の高かった内容については回数をふやすなどの対策を考えてみるとよいのではないか。

(委員) 定員 20 に対して多数の申し込みが出た場合、もう 1 回増やす方法や人気がある教室はあらかじめ 2 教室用意するというのも、いいかもしれない。

④ 古賀市第九演奏会 古賀市「第九」実行委員会

補助内示額：409 千円 補助実績額：409 千円

(委員) 収支報告書をいきなり別紙明細とはせず、科目ごとに整理し、その後詳細を添付すること。実施体制が二つに分かれていて混乱があったとしても、手抜きをせずにしっかりと書類をあげていただきたい。

(委員) 報償費、合唱指導料は、世間一般的にはどういうものなのか。費用が高すぎることはないか。謝礼規定に則したものになっているのか。

(委員) 熱意は認められ自立に向けた可能性を持っているとのことから、今後はより自立の方向に向かってかじを切って展開していただきたい

(委員) 第九演奏会は近隣でも同様に行われていると思うが、入場料や参加料は妥当なものなのか調査して、適正でない場合は、価格の変更も検討すべきではないか。

(委員) 参加者向け、来客向けのアンケート調査の実施をお願いしたい。

⑤ 演劇ワークショップ「悠久の風」 古賀市市民劇団DAICOON

補助内示額：500 千円 補助実績額：500 千円

(委員) 収支報告書の収入に子ども夢基金というのが当初計画されていて、実際決算に出るようになっているが、この復活というのは有り得ないのか、将来的にはどうか。

(委員) 収支報告を見て、お金がかかり過ぎではないかという印象を受ける。寄附金や助

成金を得てやっているからには、支出の適正化に努めることも必要ではないか。もう少し支出をスリム化し、報償費あたりをかなり工夫すれば補助金がなくてもやっていけるのではないか。

(委員) ワークショップに参加して一緒に劇をしたのは結局少数であり、もう少し実際に動いたり、劇をするようなお子さんが増えるといい気もする。団体から団員の確保に向けてのコメントは特にないようなので、そのあたりの考えを聞かせて欲しい。

⑥ 古賀市商工会クリスマス市民祭 古賀市商工会

補助内示額：447千円 補助実績額：450千円

(委員) 申請時の事業概要では、商店街をクリスマスイルミネーションで飾りつけすると記入されていたが、実際には、商工会横の飾りつけということで、場所も狭い範囲での実施であったようである。

(委員) 収支報告書に項目がずっと書いてあるが、科目ごとに集計して、当初と比較できるようにかたちでお願いしたい。

(委員) 市民祭決算というのが書いてあるが、対象分と対象外分もあわせて書いてあり分かりにくい。対象分と対象外分を明確にしていきたい。

(委員) 成果に真剣に向き合っている熱意が感じられない。税を投入してまで継続していく必要は低いと思われ、自助努力による実施が望まれる。

(委員) 実績報告書の中で、実施効果としては商店街の活性化、賑わいの創出や憩いの場を提供することができたと書いてあるが、継続的にできてないという気がする。継続的に賑わいに供することができるようにお願いしたい。一時的なものではなく商店街の活性化に繋がったのかこの報告書では伝わりにくい。

(委員) 申請時にアンケートなどを行って顧客の満足度がどうだったのかをちゃんと調べて今後につなげるようにきちんとやってくださいという意見をつけていたにもかかわらず、今回特にアンケート調査を実施したり、顧客満足度を図った様子が見えない。

(委員) 参加者数1000人となっているのは、イベントに参加した人の数なのか、通行人とか見に来た人の数なのかを確認させていただきたい。また、なぜ1000人なのかの根拠を示して欲しい。

⑦ 古賀市商工会駅前商店街土曜夜市 古賀市商工会

補助内示額：479千円 補助実績額：479千円

(委員) 収支報告書の支出について、消耗品や報償品など科目ごとに集計して欲しい。また、収入について、実行委員会の負担金とはどういったものか。

(委員) 一般的に出店料はいくらぐらいが相場なのかを見ながら、店舗数を増やすと同時に、出店料も少し上げるというのも今後必要になってくるのではないか。

(委員) もともとアンケートによる意見収集が目標として掲げられていたにもかかわらず、

出来なかったのはなぜか。反省や改善を期待するが、できない場合には税を投入してまで継続していく必要性は薄いと判断せざるを得ないのではないか。

(委員) イベント自体は、楽しそうでいいと思うが、基本的に費用のほとんどが補助金で賄われており、財政的な問題があるのではないか。せつかく商工会という大きな団体が運営しているのに、何とか工夫ができないのか。あくまで補助金は補助というような位置づけで出来るように財政的な改善策を検討をしたほうがよいのではないか。

⑧ 古賀市PRワークショップ 特定非営利活動法人晴天人

補助内示額：500千円 補助実績額：500千円

(委員) 当初想定どおりにいかなかった部分や目標未達成の部分に対して真摯に向き合い的確な改善策を見出すことがなければ税を投入してまで継続していく必要性が薄くなる。自立活動という部分も含めて大幅な改善が必要と思われる。

(委員) 活動実績に来場者数が記載してあるが、一日にすると来場者数が無い場合もあるのではないか。もう少し周知とか人を呼ぶための努力を求めたい。

(委員) 本当に多くの人が集まるのかや商店街の活性化につながるのかというのは、採択時から疑問、不安がある中で、実際に26年度1年間やってみたら、やはり人が少なかったり活性化という面では結果につながりにくかったということがあるのではないか。その反省を踏まえて27年度・28年度はしっかりとやっていただきたい。

(委員) 商店街の活性化を図るという目標が掲げてあるが、商店街の中の駅前の1店舗だけの事業でしかない。来場者数が少ない状況もあり、基本的に考え直さないといけないのではないかと思う。個人的には努力されているが、これで商店街に人が集まるという感じがしない。商店街や商工会、行政や地元などもっと何か連携して考える必要もあるのではないか。

(委員) ギャラリー、教室だけでなかなか難しいと思うので、積極的な情報発信なりイベントなり、バラエティに富む客層も増えるように少し検討しなければ本当に税金を投入するという意味が薄くなる。せつかくの場所なので、もう少し工夫をしていただきたい。

総括

(委員) 評点をつけてみても、集計をみてもそうだが、意見をいかす選択の幅が少なく、評価しにくく感じた。

(委員) 委員の受け止め方にもよるが、今後の方向性の評点について、廃止という表現をしてあったため、付けにくかった。また、微妙なニュアンスや点をつけた理由などを記入する欄があればよい。

(事務局) 参考にさせていただきたい。今回はまだ評価の方法などが確立できていないため、今後改善していきたい。

(事務局) 本日委員の皆さまより改善事項や指摘をいただいて、今回評価した8事業は、

すべて審査をクリアしてきた事業であるにもかかわらず、評価に差が開くということになっている。担当課の評価がかなり低い事業も見受けられたので、審査していろいろご意見をいただきながらやっているが、実際に公金を支出していくのは担当課になるため、団体とのかかわりを通して、指導、育成なり、改善なりをしていきたいと感じた。

（委員）審査から評価まで、最終的なところが統一的になっていたらよい。収支報告書の記入方法が団体によりばらばらになっているため、書き方の統一をして欲しい。

（事務局）委員の指摘を踏まえて改善していきたい。

#### ○その他

（事務局）残る 7 事業については、次回の第 2 回委員会において評価を行いたい。また、本日いただいた意見については、事務局でまとめたうえで各団体にお知らせする。各団体には、その評価を 28 年度事業にぜひ生かしていただきたいと思っている。今後のスケジュールとしては、28 年度事業を募集中であり、継続分も合わせて 10 月に書類審査、11 月に新規事業のプレゼン審査を予定している。

以上